

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

五十周年記念事業の計画

一九六九年は大原研究所創立五十周年に当っており、その記念事業については前年より種々の計画が検討されていたのであるが、いよいよその計画要綱が決定を見た。すなわち、—

- (一) 記念講演会と祝賀会を開催する。
- (二) 所蔵文献資料を中心に、一般公開の「社会運動資料展」を開く。
- (三) 所蔵社会運動史料を編集し、解説を付して覆刻する長期計画を立て、六九年より逐次それを刊行する。
- (四) 『大原社会問題研究所五十年史』を編集刊行する。
- (五) 研究所概要パンフレット(しおり)を日文、英文の二種類作成する。
- (六) 現在進行中の所蔵文献目録の作成をいそぎ、五十周年記念出版として六九年中に発行する。
- (七) 研究員の執筆による論文集を刊行する。

これらの事業は、とくに展示会と覆刻刊行の仕事は長期の準備作業と多くの労力、費用を必要とするので、六八年一月二四日の常務理事会でその実施具体案を検討し、中心になる担当者を内定した。当日決定したことは、必要経費については法政大学の援助を、展示会と講演会には朝日新聞社に後援を依頼すること、これら渉外関係は大島理事が当り、展示プランや出品資料選択等については二村、石島所員が中心となって所員会議において検討すること、また社会運動史料覆刻については適当な出版社と下交渉にはいること、等である。

右の決定にもとづき、全所員は研究員会、所員会議をひんぱんに開催し、準備活動にはいった。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行 [法政大学大原社会問題研究所](http://oisr.org)

[前のページ](#) ← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所](http://oisr.org)(<http://oisr.org>)